

花繚乱の

(昭和三十三年寮歌)

前島一淑君 作歌・作曲

一

花繚乱の夢に酔い
地の囁きの音に伏せば
草湫々の声すなり

二

夜光流るる芝草や
辛夷の花の香に迷う
遠き憧れ逝にし日よ

三

窓辺に招く幻の
影にあくがれ彷徨えば
森に桂の火は燃えぬ

四

今紅の篝火よ
裸形の友は肩組みて
去り行く青春を惜しむかな

五

静寂甦りぬ春の宵
銀漢の下希望なる
支笏の湖に星は飛ぶ